

眼科医師 AED 講習会実施



眼科部長の薄井医師から AED の取り扱いを講習してほしいとの依頼あり、心臓血管センター・センター長である小山医師（ACLS インストラクター）が 11 名の眼科医師にレクチャー。

眼科では高齢者が多く、いつ緊急の事態が起こるか分かりません。その時の 1 分 1 秒が患様の生命を左右します。

週 1 回眼科のミーティングを行っている時間にお邪魔しました。短時間での講義の為、AED の使い方に要点を置いての説明です。

院長も参加。数ヶ月前に院長は、緊急事態の場面に遭遇し、AED の重要性を身に染みて感じており、

「倒れている人を発見したら AED を持ってこい！」

「パットを袋から取り出すとき慌てるな！」

「ショックの前に離れろ！」

何ともリアルです・・・。



～ 小山医師から、2つのポイント ～

- 1 “まずは、電源 ON。あとは、機械の言う通りに”
- 2 “解析中・ショック時は離れて”



まずは、薄井部長自らが体験です。

平松副部長も助っ人で参加。

“先生、AED 持ってきました”

“心マ代わってください”

“パットを貼って！”

“離れてください”

.....

その後、モデル 2 体相手に、それぞれの先生方が演習を行いました。